

介護の仕事は専門的な知識と確かな技術を基に、利用者の方がより良い人生を送るための支援を行うこと。決して簡単な仕事ではありません。

だからこそ、やりがいに満ち、誇りを持って仕事に打ち込んでいる職員がたくさんいます。もし、介護の道に進みたいというご家族がいたら、ぜひその思いを応援してあげてください。

石川県内の 介護福祉士 養成校

介護福祉士の資格取得を目指し、 専門的な知識や技術を学ぶ養成校

介護の仕事は、訪問介護など一部を除き、特別な資格を持たなくても就くことができますが、より自信を持って働くためには、養成校で学んでから就職するの1つの方法です。

4年制

金城大学

人間社会科学部
社会福祉学科
生活支援コース



白山市笠間町1200
TEL 076-276-4400



2年制

金沢福祉専門学校

介護福祉学科



金沢市久安3丁目430番地
TEL 076-242-1625



2年制

専門学校アリス学園

介護福祉学科



金沢市円光寺本町8番50号
TEL 076-280-1001



今後ますます需要が高まる
大切な仕事
だけど、
大変で厳しい仕事…

介護の仕事にそんな印象を持ち、
ご自身やご家族の将来として考えると
不安に思う方もいるかもしれません

そんなみなさまに読んでいただきたい 介護の仕事の今をお伝えします

養成校への進学を応援!

介護福祉士修学資金等貸付制度

将来、県内の福祉施設等で介護福祉士として働くため、県内の養成校や福祉系高等学校で資格取得を目指す学生を応援する制度です。学費を無利子で貸与し、卒業後に原則5年間（福祉系高等学校の場合は3年間）、県内で介護業務に従事するなどの条件を満たすと返還が免除となります。



介護・福祉についてもっと知りたい! どんな資格や支援があるか知りたい!

石川県介護・福祉の仕事の魅力発信ポータルサイト「いしふく」では、介護・福祉分野で活躍する職員のインタビューや資格の情報、介護・福祉分野での就職をサポートする支援メニューを紹介しています。ぜひご覧ください。



石川県介護・福祉の仕事の魅力発信
ポータルサイト いしふく
<https://www.ishi-fuku.jp/>



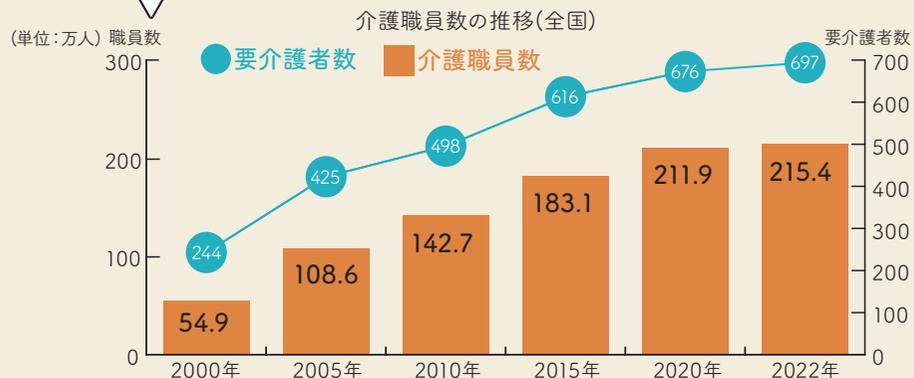
介護分野は成長産業

介護職員は増えている

「介護人材が不足している」たびたび耳にする言葉です。「不足」というと「減っている」と考えがちですが、介護の仕事に就く人は毎年増加しています。ただ、それ以上に介護を必要とする高齢者が増えていることから、介護人材が足りないという状況になっています。

高齢者の数は2040年頃にピークを迎えその後減少に転じますが、高齢化率は上昇を続けるため、介護の仕事はニーズの高い状態が続くと考えられます。

増加を続ける介護職員



【出典】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(介護職員数)、「介護保険事業状況報告」(要介護者数)

保護者の方に聞きました

介護の仕事
ここが心配!

成長産業と言っても実際に働くとしたらどうなの!?

子どもの進路として介護の仕事を考えてときに気になることについて、高校生の保護者の方に聞きました。

身体的な負担が大きそう!

- ・夜勤や早番、遅番など、勤務時間が変則的で体調管理が大変そう。
- ・残業が多いイメージです。
- ・腰をいためる人も多いと聞くので心配です。

離職率が高いって本当?

- ・辞める人が多いと聞きます。やっぱりきつい仕事なのでしょうか。

賃金が低いと聞くけれど?

- ・大変な仕事の割に賃金が低いと聞きます。
- ・将来的に家庭を持って生活していけるのか心配です。

将来、仕事と家庭を両立できるの?

- ・結婚や出産を機に辞める人も聞きます。
- ・結婚して子どもを持ったとき、子育てしながら仕事ができるのでしょうか。

仕事にやりがいはあるの?

- ・高齢者のお世話は大切な仕事とは思いますが、やりがいがあるのかよく分かりません。

解説は次のページから!

多くの企業が介護分野に着目

少子高齢化の流れを受け、あらゆる産業が高齢者向けのサービスに着目、事業を展開しています。

例えば

トヨタ

自動車の生産や産業用ロボットの技術を活かし、介護分野を含むあらゆるシーンで人をサポートするパートナーロボットを開発

パナソニック

有料老人ホームや在宅介護サービスを提供しながら、メーカーとしての先進技術を活かし介護用品を開発

SOMPO ホールディングス

有料老人ホームや在宅介護サービスを展開するほか、学術機関と連携し認知症に関する調査研究にも貢献

ロボット・ICT技術で介護を優しく便利に!

今、介護の現場では介護職員の精神的・体力的な負担を少なくし、また高齢者にとっても便利で優しいロボット・ICT技術の活用が進んでいます。

モバイル機器

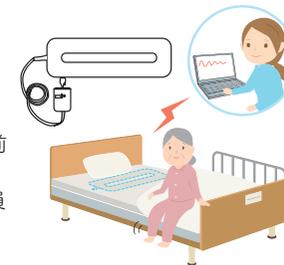
モバイル機器(携帯電話)を介護現場で活用することで、心拍等の測定データや食事の履歴、申し送り事項などの入力・確認、ナースコールや起き上がり検知などの状況確認を、職員の手元で行えるようになります。情報は瞬時に共有され、どの端末でも確認することができるため、齟齬による事故の防止や、医師や家族等への情報共有に役立ちます。



見守り介護ロボット

見守り介護ロボットには、利用者の心拍や呼吸などを測定できるものがあります。職員はその数値を参考にして利用者の状況を把握し、死期が近いと思われるときには前もって家族を呼ぶことで、最期の瞬間に立ち会ってもらえるようになります。

また、利用者の起き上がりを検知できる見守りベッドもあります。検知すると職員の端末に音を鳴らせて知らせるので、事故を未然に防ぐことができます。



介護の仕事徹底分析

「残業なし」が約6割



ご家族の一番の心配は、やはり身体的な負担ではないでしょうか。入所型の施設では職員が交替で勤務にあたり、24時間365日、利用者の方の暮らしを支えています。そのため生活が不規則となり、体力的な負担を感じることも確かにあります。ですが、生活を支える大切な仕事であるからこそ、十分な休養をとることができるよう配慮されています。例えば、県内の医療・福祉分野での年間休日は平均104.6日。全産業の平均106.2日と同程度です。また、介護職員を対象に1週間の残業時間を尋ねた調査では、「残業なし」という回答が約6割でした。夜勤を心配する声も聞かれますが、夜勤明けにはしっかり休めるような勤務表が組まれており、また、デイサービスなど夜勤のない事業所もあるので、自分に合った働き方を選ぶこともできます。

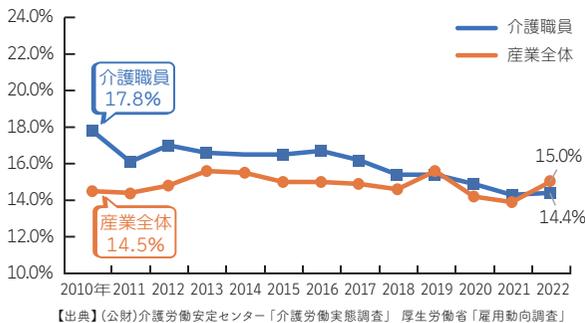


身体的な負担を軽減

今、介護の現場では、利用者を抱え上げない介護が浸透しつつあります。ベッドから車いすなどへの移乗は、体の下に専用のボードを敷いてスライドさせることで、力の弱い人でも無理なく安全に行うことができるほか、移乗のためのリフトやロボットスーツを導入する事業所もあります。また、ボディメカニクス(身体の動きのメカニズムを活用した介護技術)の体の使い方をしっかり身に付けることで、最小限の力で介助を行うことが可能となります。

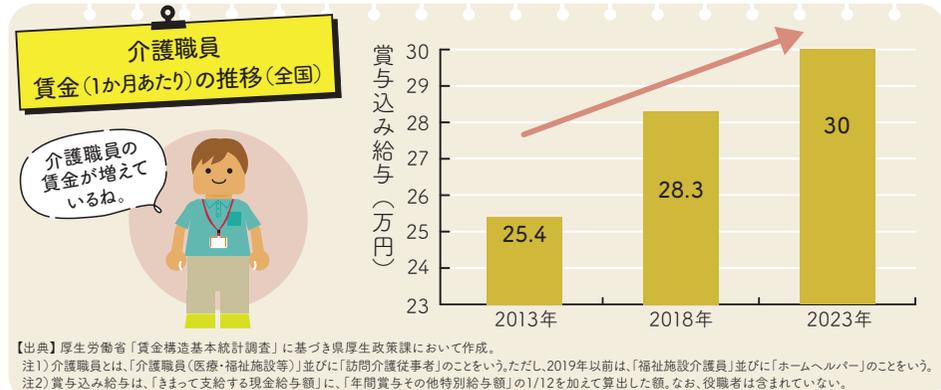
離職率の差はわずか

10年ほど前、介護の仕事は産業全体と比較して離職率が高い状態であり、その傾向がしばらく続いていました。今ではほぼ同程度となっており、それほど大きな差は見られません。



介護職員の賃金は年々増加

「介護職員の賃金は低い」と聞いたことがあるかもしれません。確かに、介護の仕事のニーズが高まっているなか、一方で産業全体と介護職員の給与を比べると少し差があります。そのため、国では介護職員の給与水準を引き上げるための取組が進められています。令和5年度までには、月額最大3万7千円に相当する「介護職員処遇改善加算」のほか、経験・技能のある介護職員の賃金を引き上げる「特定処遇改善加算」や、基本給等のベースアップ等を図る「ベースアップ等支援加算」により、介護職員の賃金が高水準となるよう取り組んできました。令和6年6月からは加算が一歩化され、さらに加算率の引き上げが行われます。



働きやすい職場を県が認定



2017年、職員にとって働きやすい福祉事業者を県が認定する制度が始まりました。休暇の取得促進や仕事と家庭との両立支援制度の導入、給与体系の整備などに積極的に取り組み、一定の基準を満たした事業者を「いしかわ魅力ある福祉職場」として認定しています。

取組の例

<p>新人教育が充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修 ・新人教育担当者に対する研修 	<p>若者が将来像を描ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得のサポート ・キャリアアップの道筋整備 	<p>職員を大切にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休暇の取得促進 ・労働時間縮減の取組 ・仕事と育児との両立支援
--	--	---

認定事業所の取組等をより詳しく知りたい方はこちら!
石川県介護・福祉の仕事の魅力発信ポータルサイト「いしふく」





介護の仕事の本質



介護の仕事は「食事や入浴、排泄などの身体的な介助を行うもの」と考えている方もいらっしゃると思います。それらはもちろん大切な仕事の一部ですが、仕事の本質は他にあります。介護を必要とする方の人生を快適で充実したものとしていけるかどうか。それは、介護に携わる人の手にかかっています。

例えば、介護がいわゆる3Kと言われる理由の一つと考えられる排泄介助について。自分でトイレに行けなくなりおむつを付けるようになった方が、介護職員の関わりで歩く脚力をつける、または毎日の介護記録の集約により排泄の時間を分析し、介護職員がタイミングを合わせてトイレに誘導することで、おむつを外せた事例があります。

他にも、介助なしで食事ができなかった方が目標を持ってリハビリを続けた結果、自分の手で食事ができるまでに回復した例や、施設に入所され、病気を抱えて外出が難しい方の「一度でいいから家に帰りたい」という願いを、医療スタッフを交えてご家族と相談を重ね、叶えることができたという事例もあります。

介護を必要とする方が日々その方らしく暮らせるよう、介護職員は常に様々な工夫をしながら仕事にあたっています。

職員インタビュー

県内の介護施設で活躍している職員の方に、仕事への思いやプライベートについて聞きました！

※インタビューは2024年実施（役職等は当時のもの）



社会福祉法人 自生園
特別養護老人ホーム 自生園

西場 芳江さん

施設長

施設長として職員との関わりで気を付けていることを教えてください

施設長としての役割に業務・人事管理があります。業務管理では働きやすさ・やりがいを重視しており、生産性をあげるためICT/IoT技術の活用やタスクシフティング等を取り入れ、職員の負担軽減を目指しています。人事管理では、職員自身に興味を持ち、それぞれの家庭環境や生活リズムから個々の働き方を提案できるよう心がけています。例えば、育児のため日勤中心に働いている職員について、子どもが成長し時間が多く取れるようになったときには、給料面から夜勤業務を提案するなど、ライフステージに合わせた働き方ができるよう配慮しています。

仕事のやりがいや魅力について教えてください

私自身、仕事をやめたいと思ったことがないほど日々が楽しいです。利用者様が生活の中で何かできないことがあっても、私たちが支えることで「できること」が増え、再び自分らしい生活を送ることができるようになります。例えば自分でトイレに行けるようになると、そのことが自信になり、さらに「できること」が増えたりします。その姿を見ると大変感動します。また、当施設では看取りケアを実施していますが、悔いのない最期を迎えていただくため、ご家族様と時間を共にできるよう努めています。亡くなる瞬間に立ち会い、ご家族から「悲しいけど悔いはない」と仰っていただけたときには、大きなやりがいを感じます。

ご家族へのメッセージをお願いします

ご家族が介護職への就職を反対される理由の一つに、腰を痛めるような重労働が挙げられると思います。しかし、近年の介護現場では「持ち上げない介護（ノーリフティングケア）」に取り組む施設も増えてきており、当施設も十数年前から実施しております。スライディングシートやボード、ベッドのギャッジ（姿勢調整）機能等を活用し、利用者様を持ち上げるのではなくスライドさせることで腰の負担が軽減されますので、職員の腰痛を予防できています。また、当施設ではICT/IoT技術の活用により、利用者様の状況を随時把握・検知しており、何かあった時にすぐ駆けつけるのももちろんですが、過剰な確認作業が不要になり、効率的に業務を進められるようになっています。



私たちが支えることで、利用者様の「できること」を増やしていきたい



仕事と家庭を両立！
ライフステージに合わせて働き方を選べる



社会福祉法人野々市市社会福祉協議会
訪問介護事業所・相談支援事業所

坂井 花緒さん

サービス提供責任者・
相談支援専門員

仕事の内容について教えてください

訪問介護事業所ではヘルパーの仕事をしています。利用者さんの自宅に訪問し、身体や家事のお手伝いをしています。一緒に働くヘルパーさん達や他職種の方々との調整役を行うのが主な仕事です。相談支援事業所では障害のある方がサービスを活用できるように支援する仕事をしています。障害者福祉支援や、生活、住居など暮らしにおける悩みの相談支援を行っています。

仕事のやりがいについて教えてください

どの仕事も決して私ひとりでは出来ない仕事です。一緒に踏ん張って力を貸してくれる職場の仲間や、裏方で支えてくださる先輩、他事業所の方のおかげで業務が成り立っています。困難なケースにぶつかるとも「諦めなくて良かったね」と皆で結果を共有できた時、感謝の気持ちと、やりがいを感じます。

介護の仕事に就いたきっかけを教えてください

私は祖父母に育てられたことがきっかけで福祉の専門学校に行きました。学校を卒業してからはずっと夜勤のある施設で働いていました。夜勤は体力勝負でもありましたが、自分の時間を日中帯に多くとる事もでき楽しかったです。

その後は結婚、出産、子育てに合わせて夜勤の無い訪問の仕事を選びました。当初はパート勤務で自分の働ける時間、件数のみで働かせてもらっていました。同じ介護の仕事でも、自分のライフステージに合わせて仕事を選べる。それも福祉の仕事の魅力だと思っています。



医療法人社団 仁智会
介護老人保健施設 金沢春日ケアセンター

中村 寿史さん

介護主任

介護の仕事に就いたきっかけを教えてください

私は一般企業からの転職で介護の仕事をはじめました。大学時代に障害者施設でのボランティア経験があり、福祉業界に興味を持ったのがきっかけです。無資格で応募しましたが、入職前にホームヘルパー2級（現：介護職員初任者研修）の講座を受講してから介護の仕事に就きました。その後、実務3年を経て介護福祉士資格を取得しています。

仕事のやりがいや魅力について教えてください

人と人の感情のふれあいが介護の魅力で、どの場面にも感動があり、私は自分が携わる何気ない日常の介護場面一つ一つにやりがいを感じています。排泄や入浴介助、認知症の方への対応など上手くいかないこともありますが、利用者様の笑顔を引き出すために、皆で知恵を出し合い、協力して行う介護はとても楽しいです。また、人生の最終ステージに深く関わることのできる特別な職種であるため、利用者様から信頼される介護の専門職として、さらにスキルアップしていかなければならないと感じています。

ご家族やプライベートについて聞かせてください

料理をするのが好きなので、毎朝自分と娘のお弁当を作るのが日課となっています。最近は休みの日にケーキを作ったりもしています。また、毎年立山（富山県）に登ることも楽しみの一つです。初心者でもチャレンジしやすい山ですし、四季折々の景色があって、運が良ければ雷鳥も見ることが出来るので、毎回新鮮で良い気分転換になっています。



人と人の感情のふれあいが介護の魅力！